

ICTを活用した総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証事業

事業実施者

クリアウォーターOSAKA・日本下水道事業団・大阪市共同研究体

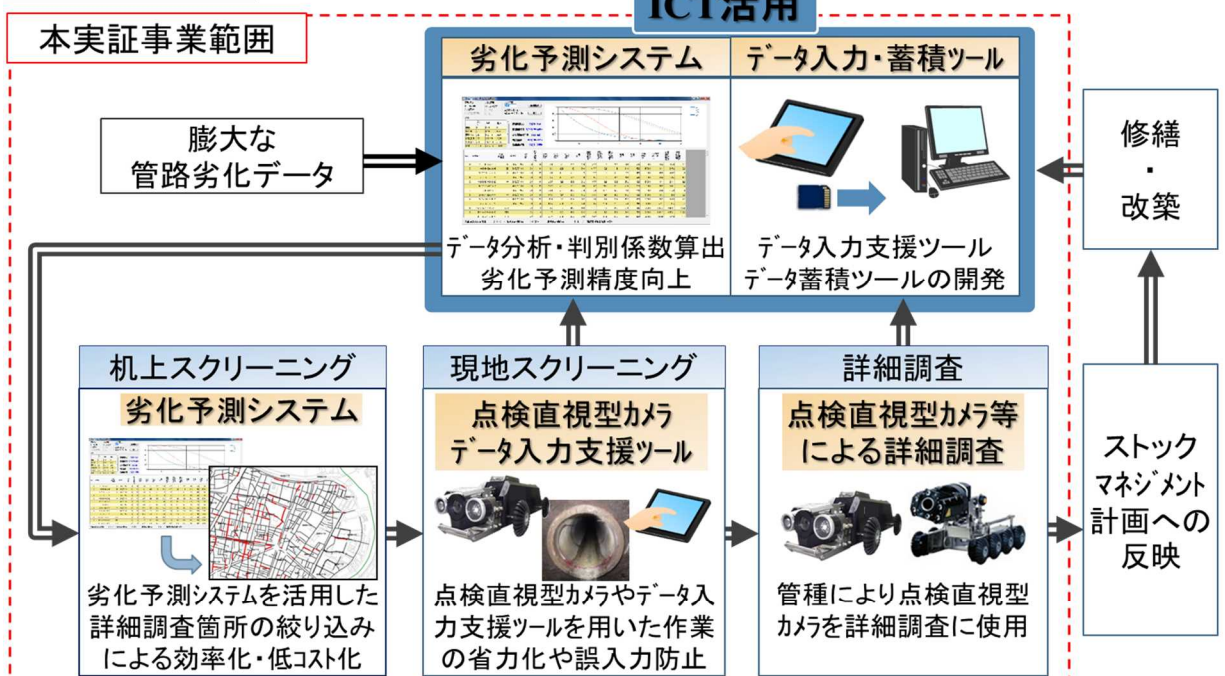
実証フィールド

大阪市

実証概要

ビッグデータ解析による劣化予測システムやICTを活用したデータ入力・蓄積ツール、点検直視型カメラ等の技術を用いて効率的なスクリーニング及び詳細調査を実施し、低コストで効果的な「総合的な段階型管路診断システム」を確立する。

提案技術の概要



劣化予測システム	膨大な管渠劣化データから、管路の劣化傾向を分析し、点検調査順位を算出するシステム
データ入力・蓄積ツール	タブレットやスマートフォンにより現場で管路情報を入力維持管理情報を施設情報に関連付けて蓄積
点検直視型カメラ	事前の管内洗浄不要、異常箇所での一時停止不要等、スクリーニングに特化したカメラ調査機器

提案技術の革新性等の特徴

- ①劣化予測を活用した机上スクリーニング**
 膨大な管渠劣化データをビッグデータ解析し、得られる高精度な劣化予測システムを活用して、詳細調査箇所の絞り込みを行い、効率化・低コスト化を図る。
- ②効率的な現地スクリーニング**
 点検直視型カメラ等やICTを活用したデータ入力支援ツールを用いて、早くて確実な現地スクリーニングを実施することで効率化を図る。
- ③総合的な段階型管路診断システム**
 管種毎に最適なスクリーニング及び調査方法を適用することにより、低コストで効果的な『総合的な段階型管路診断システム』を確立する。